

報 道 資 料

令和 5 年 5 月 1 8 日

福祉医療部企画管理室企画調整係

担当：田中 聡、小橋 春香

ダイヤルイン：0742-27-8641

内線：2956、2958

“小さな灯”^{ともしび} 基金 贈呈式の開催について

Daigas グループは、昭和 5 6 年から“小さな灯”^{ともしび}運動として、企業ボランティア活動を展開されており、その活動の一環として、福祉教育施設への物品の寄贈活動を継続されています。＜資料 1＞

今回は、藤の木学園、中央こども家庭相談センターおよび精華学院に対し、家電製品等の物品を寄贈していただくこととなりました。

つきましては、下記のとおり贈呈式を開催します。

記

【日 時】 令和 5 年 5 月 2 5 日（木） 午前 9 時 3 0 分～1 0 時 0 0 分

【場 所】 奈良県庁本庁舎 3 階 福祉医療部長室

【寄贈品】 家電製品等 5 点＜資料 2 参照＞

【出席者】

＜寄贈者＞

大阪ガス（株） 奈良地区支配人 福井 克久 様
エナジーソリューション事業部 業務部 古賀 裕義 様

＜受贈者＞

奈良県 福祉医療部長 山中 淳史
こども・女性局長 舟木 豊

【内 容】 目録の贈呈

※取材を希望される場合は、社名、氏名等を 5 月 2 2 日（月）までに福祉医療部企画管理室企画調整係までご連絡ください。

別添資料

＜資料 1＞Daigas グループ “小さな灯”運動の概要

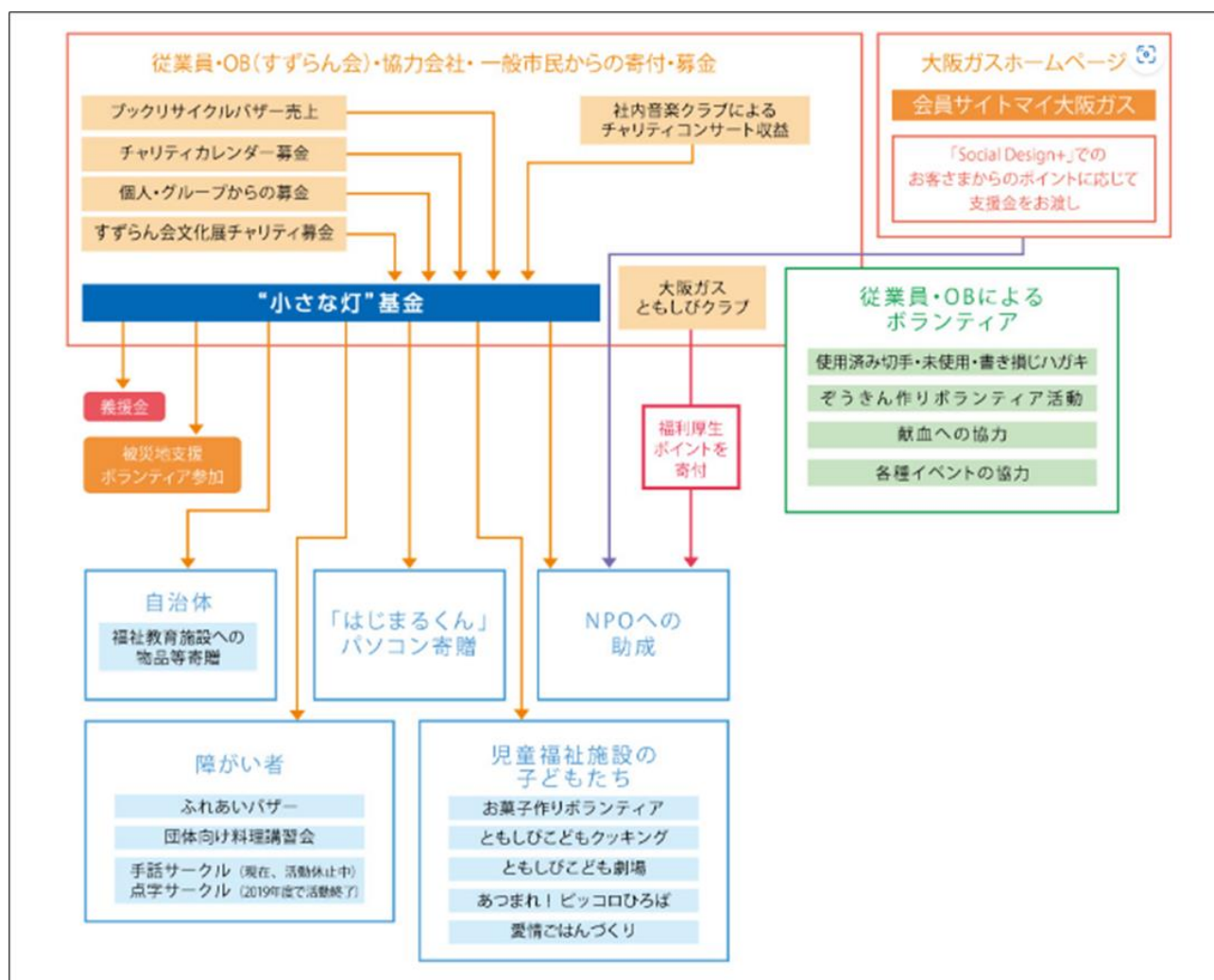
＜資料 2＞Daigas グループ “小さな灯”運動「小さな灯」基金からの寄贈物品の概要



“小さな灯”運動 シンボルマーク

- “小さな灯運動”は、昭和56年（1981年）の国際障害者年に、大阪ガスグループ各社と従業員等からの寄付で発足した社会貢献活動。
- 「私たち一人ひとりが身近なことに関心を持ち、地域社会のさまざまな問題の解決に自らの意思で積極的に取り組んでいこう」という考え方にに基づき、社員が自主的に活動を企画し、参加し、続けていく点が、運動の特徴。
- 発足後40年以上にわたって、児童福祉施設の子どもたち、高齢者、障がい者、災害被災地等への支援活動を継続。
- “小さな灯”基金は、“小さな灯”運動の開始と同時に創設され、グループ従業員、その他関係先などからのチャリティカレンダー募金をはじめとする「募金」で成り立っている。集まった募金は、各地域の社会福祉活動や“小さな灯”運動の活動資金として役立てられている。

▼ “小さな灯”運動のスキーム



Daigasグループ “小さな灯”運動基金からの寄贈物品一覧

所属名	寄贈品	備考
奈良県立藤の木学園	キャノンデジカメ 形式：IXY650SL(1)	L S Wの事業で、対象児童の訪問ワーク、セッションの記録等で使用するため。
	ヤマダオリジナル掃除機 形式：YVC10CK(UW)	各ユニット朝・夕と掃除を行っているが、ユニット分の掃除機が足りない。また使用頻度が高く、故障頻度が多いため。
奈良県中央こども家庭相談センター	ポータブルDVDプレイヤー 形式：GHPDV7RBK	当センターの保護児達は安全上の理由から、外出が制限されており、テレビやDVDの鑑賞は貴重な楽しみの一つである。各児童の嗜好の違いや感染症予防を鑑み、各部屋で個別に鑑賞するため。
	卓球ラケット 形式：VICTAS 320010	当センターの保護児達は安全上の理由から、外出が制限されており、室内でできる卓球が体を動かす手段となっている。現在のラケットが摩耗等しているため。
奈良県立精華学院	1ドア冷蔵庫 形式：IRSD-5A-W	夏場の児童用飲料水を保冷をするため。